



＼ 1人でも多くの人に完歩の感動を／  
 第15回チャリティー100kmウォーク大会  
 第8チェックポイントリーダー  
 空知単板工業株式会社 森 祐太 さん



### ■100kmウォーキング

2002年から空知単板工業株式会社が主催しているイベントで、中空知を制限時間内に100kmを歩く。今年で第15回目を迎え参加者は1,000人を越えるなど、赤平市民にはもちろん近隣市町村にも根付いた一大イベントとなっている。

### サポーターの仕事って？

今回僕は、85キロ地点にあたる「砂川市交流センターゆう」の第8チェックポイント(休憩所)のリーダーを任せられました。ここは100キロ目の場所で、参加者の皆さんは疲労のピークを迎えているところです。そんな皆さんにおしるこや豚汁を提供したり、マツサージをしたりすることが僕たちの仕事です。

### 印象的だったできごとは？

僕も100キロウォークを歩いたことがあります。すごく大変でした(汗)。一度経験したからこそ、サポーターの存在がいかに重要であるか実感しています。

そうですね、参加者の方がマツサージをしている途中で眠ってしまったことですかね。疲れていると思うので、起こすのも忍びないんですが、他の皆さんもマツサージを待っているんで、眠っている方に静かに「終わりましたよ」と囁きました。

また、参加者の皆さんがゴールする瞬間に立ち会えるのも、この

### 大会への意気込みをどうぞ！

サポーターの醍醐味だと思います。参加者の方から「あの時はマツサージしてくれてありがとう。」と笑顔で言われると、本当に嬉しいですし、完歩して喜んでいて皆さんを見て、僕たちサポーターも感動をもらっています。

今大会で初めて、チェックポイントリーダーを任せましたが、やることはこれまでと変わりません。やっぱり参加者の皆さんには、なんとしても完歩してほしいので、僕たちは全力で支えることに尽きると思っています。そして、僕のチェックポイントから、リタイヤする人を出さないようにすることが目標です！

### ちなみに… 地元企業に就職したきっかけは？

僕は赤平で生まれ育ったのでここにいてもとても安心なんです。なにか赤平に恩返ししたいと思い、地元企業に就職しました。この仕事を始めて木材の魅力を知ることができたので今後も仕事を通して、木のぬくもりや魅力を伝えていきたいです。

今日も笑顔で頑張るやあ〜よ  地域おこし協力隊 まちの情報発信部門 愛知県出身 野口 暢子



先日フリーペーパーで取り上げていただいた記事の反響が大きく、街中でたくさんの方に声をかけていただきました。広報を通じて取材することには慣れても、取材されることはまだまだ慣れません(汗)。

山田実行委員長(右)の推薦で森さんをはじめ積極的に若手を起用するなど、会社が一丸となって運営する姿が印象的でした。



～地域の魅力発信中！～  
 赤平市地域おこし協力隊 Facebook

